

別 記

1 事業者の名称及び主たる事務所の所在地

名 称 鹿島建設株式会社
代 表 者 代表取締役社長 中村 満義
所 在 地 東京都港区元赤坂一丁目2番7号

名 称 三菱地所株式会社
代 表 者 取締役社長 木村 恵司
所 在 地 東京都千代田区大手町一丁目6番1号

2 対象事業の名称及び種類

名 称 (仮称)新砂三丁目商業施設建設事業
種 類 自動車駐車場の設置

3 対象事業の内容の概略

本事業は東京都江東区新砂三丁目4番に位置する敷地約24,400㎡において、商業施設の建設及びそれに伴う約1,600台^注の自動車駐車場を設置するものである。対象事業の概略は表1に示すとおりである。

表1 対象事業の概略

項 目	内 容
所在地	東京都江東区新砂三丁目4番
用途地域	準工業地域
計画建築物の概要	地上7階、塔屋1階建、鉄骨造 (高さ約33m、最高高さ約43m(エレベーターシャフト部)) 店 舗：1階～4階 駐 車 場：5階～7階
計画敷地面積	約24,400㎡
建築面積	約17,000㎡
店舗等床面積	約40,200㎡
延床面積	約93,300㎡
主要な用途	店舗(営業時間未定) 駐車場等
駐車場	約1,600台 ^注 (地上約70台、5階約330台、6階約330台、 7階約870台(一部機械式))
工事予定期間	平成19年3月～平成20年3月 (13ヶ月)
供用予定年月	平成20年4月

注) 台数については、今後の詳細検討の結果、変更の可能性がある。

4 環境影響評価の項目

選定した項目は表2に示すとおり大気汚染、騒音・振動、日影、景観、廃棄物及び温室効果ガスの6項目である。

表2 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目	区分 環境影響要因 予測する事項	工事の施行中		工事の完了後		
		建設工事	工事用車両の走行	建築物の存在	施設の供用	関連車両の走行
大気汚染	建設機械の稼働に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
	工事用車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
	駐車場利用車両の走行に伴う二酸化窒素の濃度					
	関連車両の走行に伴う二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の濃度					
騒音・振動	建設機械の稼働に伴う建設作業の騒音・振動					
	工事用車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動					
	駐車場利用車両の走行に伴う騒音					
	関連車両の走行に伴う道路交通の騒音・振動					
	冷却塔の稼働に伴い発生する騒音及び低周波音					
日影	計画建築物の設置に伴う、日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻及び時間数等の変化の程度					
	計画建物の設置に伴う冬至日における日影の範囲及び日影となる時刻及び時間数等の変化の程度					
景観	計画建物の設置に伴う主要な景観構成要素の改変の程度及び地域景観の特性の変化の程度					
	計画建物の設置に伴う代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度					
廃棄物	建設工事に伴う建設発生土及び建設廃棄物の排出量塵芥（一般廃棄物）の場外搬出					
	施設の供用に伴う廃棄物の種類及び排出量					
温室効果ガス	施設の供用に伴うエネルギーの使用による温室効果ガスの排出量及びその削減の程度					

注1) 印は、予測・評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目を示す。

2) 「関連車両」は、施設の供用に伴う発生集中交通及び搬出入等物流交通に係る車両の総称をいう。

3) 工事の完了後における熱源施設の稼働に伴う大気質については、今後の具体的な事業計画に基づいて、環境影響評価の項目として選定するか否かを検討していくこととする。